

和光市防犯計画の改訂（案）の概要

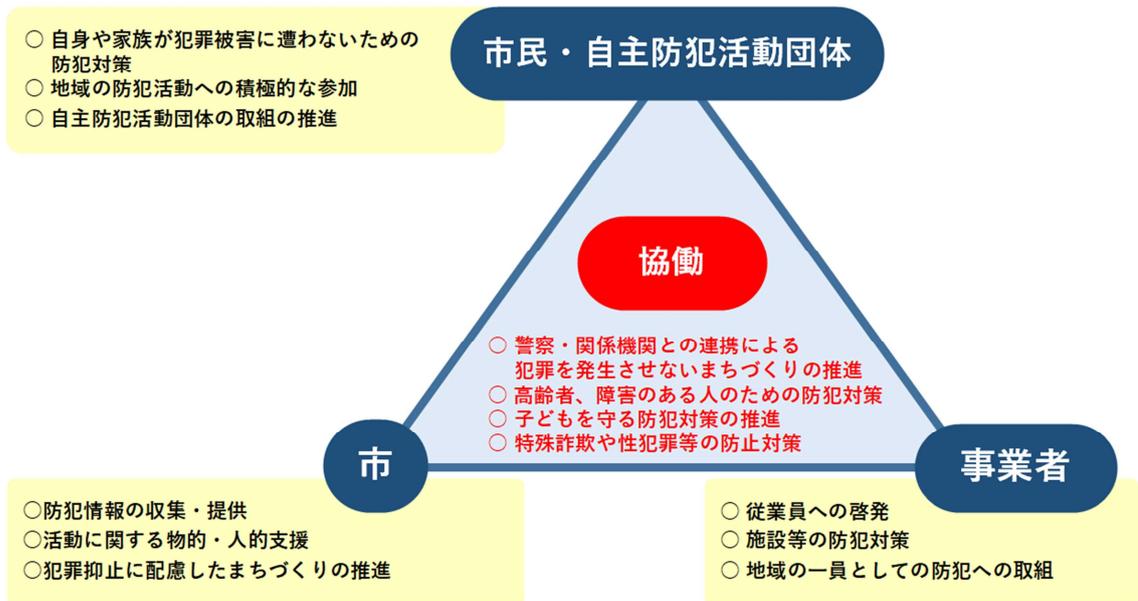
■ 改訂の要旨

社会情勢の変化に合わせて、計画の内容を見直し、「市」「市民・自主防犯活動団体」「事業者」がそれぞれ実施する取組に、連携を図って推進していく協働の取組を新たに追加し、再分類のうえ、項目一つひとつに具体的な取組を例示します。

また、犯罪被害の多様化（性犯罪、ネット犯罪など）に伴う対策を追加します。

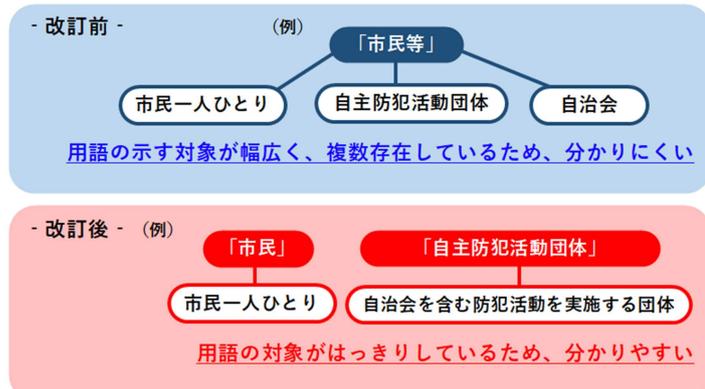
■ 取組みの新たな分類

「市」「市民等」「事業者」のそれぞれの主体が実施する取組みに分類していましたが、3つの主体が警察その他の関係機関と連携して推進していく取組みを「市、市民・自主防犯活動団体、事業者等による協働の取組」として追加し、計4つに再分類します。



■ 用語の定義付け

計画の中で登場する主体等の用語を定義付けることで、意味の明瞭化、統一を図ります。



■ 対策を講じる犯罪種別の追加

旧計画で対策を掲げている犯罪種別例

路上強盗
ひったくり

侵入窃盗

オートバイ盗・
自転車盗・自動車盗

子どもを狙った
犯罪

高齢者を狙った犯罪

障害のある人を狙った
犯罪

NEW 犯罪被害の多様化に伴い、新たな犯罪種別を追加

特殊詐欺

性犯罪
ストーカー・DV

インターネット・SNS
による犯罪

■ 全体の構成

◆ 和光市防犯計画の基本方針

◆ 用語の定義

1 市の取組

- (1) 防犯に必要な情報の収集・提供及び防犯意識高揚のための知識の普及・啓発
- (2) 市民・自主防犯活動団体及び事業者等への防犯活動支援
- (3) 犯罪防止に配慮したまちづくりの推進
- (4) 市職員等による防犯パトロール

2 市民・自主防犯活動団体の取組

- (1) 身の回りや地域における安全対策
- (2) 地域防犯活動の活性化
- (3) 知識習得のための防犯講演会、講座等への参加

3 事業者の取組

- (1) 従業員への啓発
- (2) 施設等の防犯対策
- (3) 地域の一員としての防犯への取組

4 市、市民・自主防犯活動団体、事業者等による協働の取組

- (1) 警察や関係機関と連携した防犯意識の高揚・知識の普及
- (2) 警察や関係機関と連携による犯罪を発生させないまちづくりの推進
- (3) 高齢者、障害のある人のための防犯対策
- (4) 子どもを守る防犯対策の推進
- (5) 特殊詐欺被害防止対策の推進
- (6) 性犯罪やストーカー・DV等の防止対策の推進
- (7) インターネット・SNSの利用における犯罪被害防止対策の推進

具体的取組の例

- ① 防犯に関する講演会や講座、ワークショップ等を開催して啓発に努めるとともに、警察や関係機関と協力して内容の充実を図ります。

- 講演会等の企画・開催・参加
- 警察や県の出前講座の活用